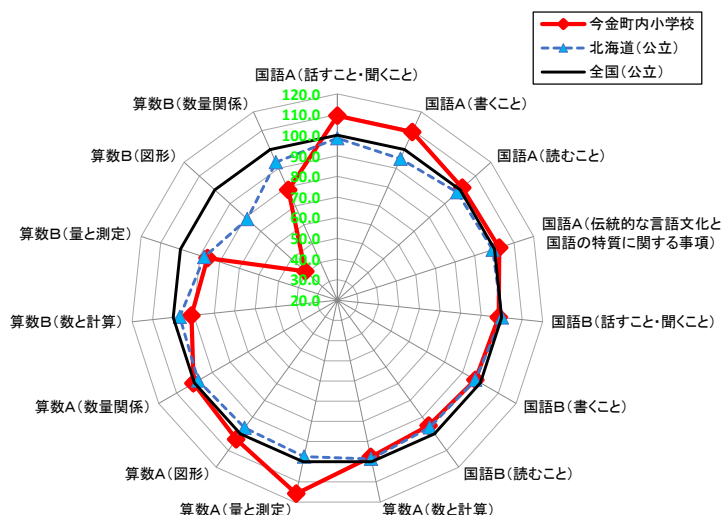


■今金町内小学校の状況及び学力向上策(学校数:2校、児童数:37人)

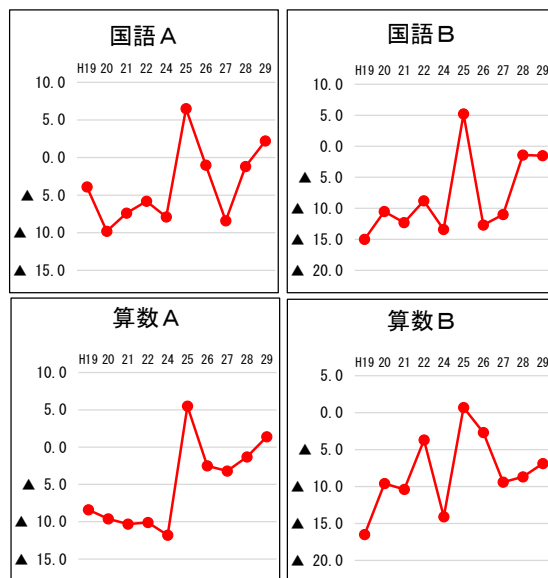
【教科全体の状況】

教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの

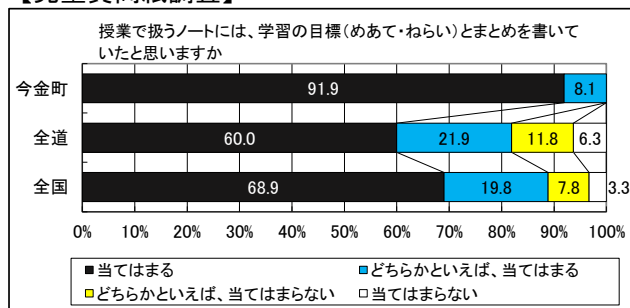
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



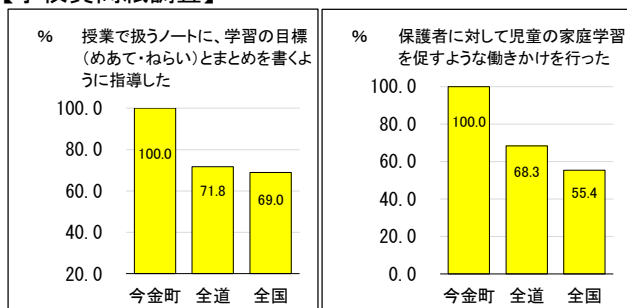
【平均正答率の全国との差の推移】



【児童質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

教科	○ 国語Aでは、すべての領域で全国を上回り、Bでは、「書くこと」で、全道とほぼ同様になっている。 ○ 算数Aでは、「量と測定」「図形」「数量関係」で全国を上回っている。	○ 学校が、家庭と連携し、保護者に対して児童の家庭学習を促すような働きかけを行ったことにより、学習内容の定着につながったと考えられる。 ○ 学校が、授業で扱うノートに、学習の目標(めあて・ねらい)とまとめを書くように指導したことにより、それらを書く児童の割合が増えたと考えられる。
児童質問紙	○ 「授業で扱うノートには、学習の目標(めあて・ねらい)とまとめを書いていたと思う」と回答した児童の割合が、全国を上回っている。	
学校質問紙	○ すべての学校が、「授業で扱うノートに、学習の目標(めあて・ねらい)とまとめを書くように指導した」と回答している。 ○ すべての学校が、「保護者に対して児童の家庭学習を促すような働きかけを行った」と回答している。	

【今金町の学力向上策】

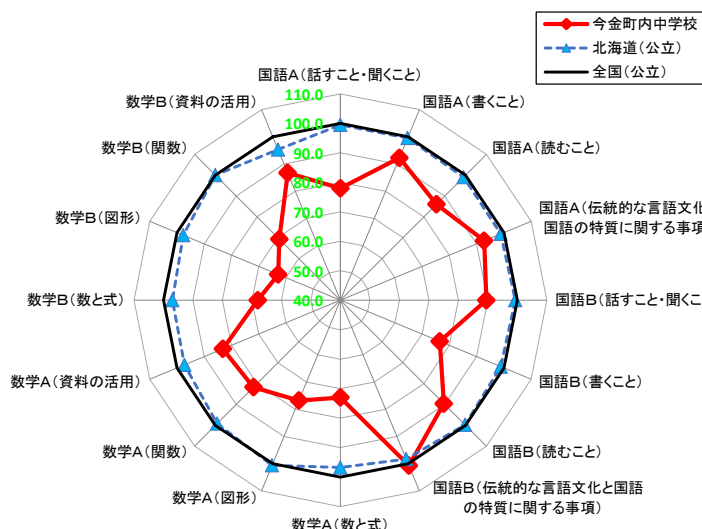
- ◎ 「読書と作文のまち」施策の推進
- ◎ 小・中学校教員相互の乗り入れ指導やTTによる学習、少人数・習熟度別学習による指導の充実
- ◎ 家庭と連携した学習習慣や生活習慣の改善に向けた取組
- ◎ 放課後学習のサポートや長期休業期間中の学習会の開催等を通じた基礎的・基本的な事項の定着に向けた取組
- ◎ 特別支援教育支援員を配置した個への支援、指導の充実を図る取組
- ◎ ICT機器を活用した「主体的・対話的で深い学び」の推進

■今金町内中学校の状況及び学力向上策(学校数:1校、生徒数:37人)

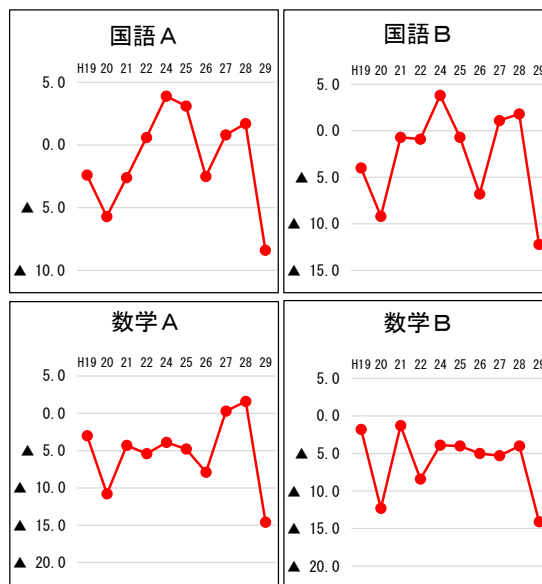
【教科全体の状況】

教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの

(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)

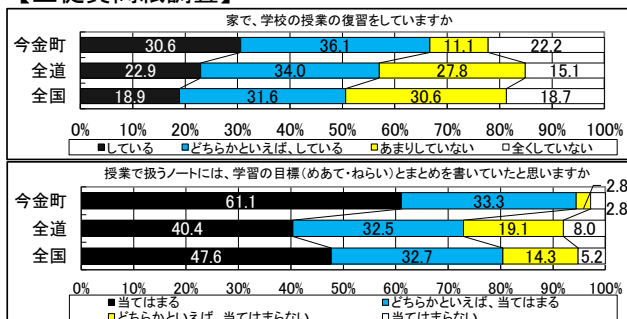


【平均正答率の全国との差の推移】

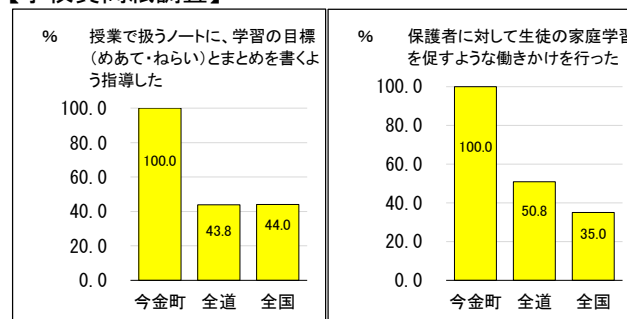


※「平均正答率－全国(公立)の平均正答率」の差の経年変化

【生徒質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

教科	○ 国語Aでは、「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」で、全国に最も近くなっている。 ○ 国語Bでは、「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」で全国を上回っている。 ○ 数学Bでは、「資料の活用」で、全国に最も近くなっている。	○ 学校が、家庭と連携し、保護者に対して生徒の家庭学習を促す働きかけを行ったことにより、家で、学校の授業の復習をする生徒の割合が増えたと考えられる。 ○ 学校が、授業で扱うノートに、学習の目標(めあて・ねらい)とまとめを書くように指導したことにより、それらをノートに書く生徒の割合が増えたと考えられる。
生徒質問紙	○ 「家で、学校の授業の復習をしている」と回答した生徒の割合が、全国及び全道を上回っている。 ○ 「授業で扱うノートには、学習の目標(めあて・ねらい)とまとめを書いていたと思う」と回答した生徒の割合が、全国を上回っている。	
学校質問紙	○ 授業で扱うノートに、学習の目標(めあて・ねらい)とまとめを書くよう指導している。 ○ 保護者に対して生徒の家庭学習を促すような働きかけを行っている。	

【今金町の学力向上策】

- ◎ 「読書と作文のまち」施策の推進
- ◎ 小・中学校教員相互の乗り入れ指導やTTによる学習、少人数・習熟度別学習による指導の充実
- ◎ 家庭と連携した学習習慣や生活習慣の改善に向けた取組
- ◎ 放課後学習のサポートや長期休業期間中の学習会の開催等を通じた基礎的・基本的な事項の定着に向けた取組
- ◎ 特別支援教育支援員を配置した個への支援、指導の充実を図る取組
- ◎ ICT機器の活用